

# 物品更新票入力マニュアル

14/09/24

19/05/11 変更

ITS

- 1 物品マスタ登録ルール
- 2 物品更新票の依頼パターン、チェック・確認
- 3 物品更新票の各項目のチェック・確認
- 4 物品コードの採番
- 5 物品マスタ入力
- 6 入力後の処理
- 7 物品終売連絡票の入力
- 8 削除済物品の復活

# 1 物品マスタ登録ルール

物品マスタには下記のルールにて登録する。

1. 物品マスタは、最初にホストに入力し、IIS、情報サービスに転送している。  
IIS転送後はRISシステムにも転送している。  
情報サービスには1日1回、池田日次処理後転送している。
2. 池田の物品マスタは池田グループを包括するマスタと位置付け、関連会社に登録した物品は池田のマスタにも登録する。従って、関連会社で動きがあっても、池田では動きがないという場合がある。
3. 物品更新票の原紙は池田グループイントラネットの伝票処理のルール等に置き、原則としてそれを使用する。
4. 物品の変更の場合、利用のある関連会社に確認の上、そのマスタも変更する。変更した会社はその更新票をFAXし、変更した事を知らせる。  
例外としてキサイには連絡しない。
5. 物品の削除依頼(論理削除)が物品更新票で来た場合
  - ・申請してきた会社について、在庫がない事を確認し削除を行う。
  - ・申請してきた会社と池田にしかマスタのない場合は、池田の在庫・入出庫で動きがあるかどうか確認し、必要に応じて池田も削除を行う。
  - ・申請してきた会社と池田以外にマスタのある会社があった場合は、申請してきた会社のみ削除を行う。
  - ・削除理由によっては池田グループ全体のチェックを行い、全社の削除を行う。
  - ・池田から来た場合は、全社の動き(在庫と入出庫)を確認し、動きがなければ池田と関連会社を削除する。削除した会社はその更新票をFAXし、削除した事を知らせる。
6. 年に1度、池田グループ全社で在庫がなく、2年以上動きのない物品を論理削除している。同じタイミングで全社の販売単価・仕入単価も論理削除している。
7. 論理削除された物品はデータ入力が出来なくなるが、問合せ・帳票出力は可能。
8. 年に1度、池田グループ全社で在庫がなく、7年以上動きのない物品を物理削除している。同じタイミングで全社の販売単価・仕入単価も物理削除している。  
物理削除された物品を、物理削除前と同じコードで再登録することはできない。新規の物品コードになる。

## 2 物品更新票の依頼パターン、チェック・確認

物品更新票が下記のパターンのいずれか判断する。

登録	...	全くの新規物品登録 池田または関連会社に登録している物品を別の関連会社に登録 荷姿入目違い等による物品コード7桁目新規登録 IISの枝番追加 IIS独自の物品登録(ロス回収品等)
変更	...	物品の変更 IISの枝番のみ変更
削除	...	物理削除 論理削除 IISの枝番の削除
削除復活	...	論理削除されている物品の復活

[8 削除済物品の復活](#)へ

### 全くの新規物品登録の場合

イントラの「物品台帳検索」にて同一品名・記号が既に登録されていないかをチェックする。

[池田グループイントラネット](#) [共通メニュー](#) [物品台帳検索](#) を起動する。

[品名カナ+記号](#) 欄に品名・記号の一部を入力

[全てを含むものを表示](#) にチェック

[一部が一致したものを表示](#) にチェック

非表示分については、[表示する](#) にチェック

検索する会社の [全社\(A\)](#) ボタンを押す

[検索開始](#) ボタンを押す。表示された内容によりチェックする。

同一品名・記号の物品が登録されていなければ新規物品登録になる。同一品名・記号の物品が登録されていた場合、メーカーが既登録物品のメーカーと異なる場合は新規物品となるが、この場合、同一品名・記号での登録は出来ないため品名・記号を変更するよう起票者に依頼する。(変更が難しければ品名にメーカー名を括弧付で追加するのがよい)。メーカーも同一であれば、本当に新規登録なのかを起票者に確認する。また、更新票によりどの会社に登録するかを判断する。池田のマスタには必ず登録する。

例外

・箕島第五工場の製品の更新票が東京開発から来る事がある。この場合は箕島第五工場に入力してもよいを確認する。

・酵素事業の物品登録の場合、同一品名・記号が登録されていたとしても酵素事業専用の物品コードを採番する為、新規物品登録になる。

### 池田または関連会社に登録している物品を別の関連会社に登録の場合

現在、登録されている会社の登録内容と更新票を比較する。内容が異なる場合は、起票者に確認する。

基本的には現在登録されている池田の内容に合わせるが、その登録内容が間違っている場合は、現在登録されている会社では変更( )となるので、追加で更新票を起票してもらう。

### 荷姿入目違い等による物品コード7桁目新規登録の場合

物品コード上6桁が同一の別物品と、以下の項目が同一であることを確認する。一つでも異なっていれば登録できない。

[項目: 性状、工程、形状、勘定区分、製造部署、製品部門、在庫管理単位、メーカー](#)

原則として、1から順に採っていく。

例外として、甘味料の半製品は7桁目を9で登録する。この場合、品名は製品名 + '未包装品' となる。

## IIS の枝番追加の場合

更新票通りに登録する。

## IIS 独自の物品登録

ロス回収品等、物品コードが 8 桁のコードを新規に登録する場合は、IIS のみに登録する。

## 物品の変更の場合

どの会社に登録が有るかチェックする。(ACOS4 オンライン F5 4 19 物品マスタ(全社)問合せ)

原則として該当物品の登録のある全ての会社を変更する。

但し、変更項目が勘定区分や各社の独自項目(後述)であれば、その会社のみを変更する。

変更項目ごとの確認内容・注意事項

変更項目	確認内容・注意事項
メーカー	登録間違いの訂正とか、メーカーの社名変更とかであれば変更可能だが、そうでなければ新規物品登録になる。
個装入目 ( ) Kg 換算係数 固形重量	これらの項目は、ホストにはない IIS 独自項目なので、IIS のみ変更する。
勘定区分 ( ) 製品部門 キサイと IDI の売上統計部門 リコスの製造部署 リコスの原価部門 上越の工場区分	期中に物品の動きが有るかチェックする(*1)。期中に動きがあれば変更することは出来ない。但し、初めて動きがあった後、月次処理を行っていなければ変更は可能。
在庫管理単位 ( )	期中に物品の動きが有るかチェックする(*1)。期中に在庫及び動きがあれば原則として変更してはいけない。どうしても変更したい場合は、マスタを変更しても数量自体は変更されない事、在庫数量の振替が必要な事を、在庫がある部署の担当者に説明する。ただし、物品を登録した当月中・単量が変わらない場合(袋 食など)は変更が可能。
池田の工場区分 ( )	工場区分が<9 その他>からの変更は問題ないが、それ以外からの変更は、変更してもよいか総務に確認する。 ホストの工場別在庫問合せを出力し(*3)、変更前の工場に在庫がある場合は、起票者に在庫の振替が必要な事を説明する。
上記の( )の項目 品名・記号 荷姿入目 単量 保管方法	ホストで物品(全社)問合せを出力する(*4)。 池田の工場区分が転売なら転売担当者に確認してもらう。 IIS で単量チェックリストを出力(物品に枝番が複数あれば全ての枝番を出力)し(*4)、変更可能かどうか判断する。

## IIS の枝番のみ変更の場合

入目・単量の変更の場合は、IIS で単量チェックリストを出力し、変更可能な場合は変更する。

その他の項目は依頼されたとおりに変更する。

## 物理削除の場合

基本的に、物品を新規登録した際、誤登録した場合の当日のみ物理削除を行う。

## 論理削除の場合

どの会社の削除の依頼かを確認する。対象の会社の在庫が残っていると論理削除する事は出来ない。関連会社で活きているコードを池田だけ削除する事はできない。

ホストの物品(全社)問合せ(\*4)、IIS の単量チェックリストを出力し(\*5)、削除可能か判断する。

## IIS の枝番の削除の場合

IIS の単量チェックリストを出力し(\*5)、削除可能か判断する。

## 各チェックリストの出力方法

## (\*1) 物品の動きのチェック方法

登録されている会社ごとに以下の手順にて行う。画面を起動後、物品コード、処理月範囲を入力する。

会社	画面	帳票
池田	ACOS4 オンライン PF5 3 3 30 場所を入力せずに問い合わせると全ての場所が表示される 処理月の指定は年 4 桁、月 2 桁	ACOS4 オンライン PF5 3 3 6
キサイ	ACOS4 オンライン PF3 1 13 26 場所の入力が必須なので全ての在庫場所を入れて問合せを行う 処理月の指定は年 2 桁、月 2 桁	ACOS4 オンライン PF3 1 13 8 出力区分: 0にする
リコス	ACOS4 オンライン PF1 1 3 3 15 場所を入力せずに問い合わせると全ての場所が表示される 処理月の指定は年 2 桁、月 2 桁	ACOS4 オンライン PF1 1 3 3 6
上越	ACOS4 オンライン PF13 3 3 17 場所を入力せずに問い合わせると全ての場所が表示される 処理月の指定は年 4 桁、月 2 桁	ACOS4 オンライン PF13 3 3 6
タヌマ	ACOS4 オンライン PF14 3 3 7 場所を入力せずに問い合わせると全ての場所が表示される 処理月の指定は年 4 桁、月 2 桁	ACOS4 オンライン PF14 3 3 6
IDI	ACOS4 オンライン PF2 1 3 13 場所は入力する必要はない 処理月の指定は年 4 桁、月 2 桁	ACOS4 オンライン PF2 1 3 15
ITK		ACOS4 オンライン PF9 1 7 10

## (\*2) 在庫のチェック方法

登録されている会社ごとに以下の手順にて行う。画面を起動後、物品コードを入力する。

会社	業務	在庫管理
池田	ACOS4 オンライン PF5 3 3 3	なし
キサイ	ACOS4 オンライン PF3 1 3 24	
リコス	ACOS4 オンライン PF1 1 3 3 3	ACOS4 オンライン PF1 3 4 1
上越	ACOS4 オンライン PF13 3 3 3	ACOS4 オンライン PF13 6 8 1 ACOS4 オンライン PF13 8 3 1
タヌマ	ACOS4 オンライン PF14 3 3 3	ACOS4 オンライン PF14 5 7
IDI	ACOS4 オンライン PF2 1 3 11	ACOS4 オンライン PF2 4 9
ITK	ACOS4 オンライン PF9 1 7 9 年月(西暦)の指定は必須:年 2 桁、月 2 桁	なし

## (\*3) 工場別在庫問合せの出力方法

ACOS4 オンライン PF5 3 3 25 工場別在庫問合せ を起動し、物品コードを入力する。

## (\*4) 物品(全社)問合せの出力方法

ACOS4 オンライン PF5 4 19 物品マスタ(全社)問合せ を起動し、物品コードを入力する。

## (\*5) 単量チェックリストの出力方法

IIS メニュー 32 ITS 専用 3236 ITS 作成プログラム 323640 ITS 開発 2 32364040 ITS 開発 3  
3236404028 単量チェック を起動し、物品コード、枝番を入力し、出力 ボタンを押す。

### 3 物品更新票の各項目のチェック・確認

#### 製造場所(物品コード6桁目)と勘定区分の関係

下の表に製造場所と製品の会社の関係を示す。製造場所は物品コードの6桁目であり、この表の製造場所に対応する製品の会社では、勘定区分が製品勘定(仕掛品、半製品、製品、受託加工賃のいずれか)となる。それ以外の会社では、勘定区分が原料となる。

製造場所と製品の会社の関係

製造場所	製品の会社	製造場所	製品の会社	製造場所	製品の会社
1	池田	4	ITK	7	外注先
2	キサイ or 上越	5	タスマ	8	仕入先 or IDI
3	リコス	6	輸入品	9	預り品

具体例

物品	勘定区分		
1369610 オニオンパウダ - CS100	池田では製品(30)	キサイでは原料(10)	リコスでは原料(10)
1358720 なつとくハヤシH009342	池田では原料(10)	キサイでは製品(31)	
1654530 キムチ鍋風煮込みうどんの素		キサイでは原料(10)	リコスでは製品(30)

注意点

製造場所	注意点
2	キサイと上越が同時に製品勘定になることはない。キサイが製品の場合は上越では原料となる。逆も同様
6	輸入品なので全ての会社の勘定区分は原料となる。
7	勘定区分が外注加工料となる。必ず製品のコードとセットとなり上5桁は同一にする。関連会社で外注加工料となる場合は、池田では原料とする。
8	勘定区分が原料となる。但し、IDIで製品コードを採番する場合は、IDIの勘定区分は製品勘定となる。
9	預り品で全ての会社で勘定区分が預かり原料、または預かり製品となる。 同一の物品が仕入品(8)と預り品(9)で存在する場合、物品コードの上5桁は同一となる。

製造場所と勘定区分の関係には下記の例外がある。

製造場所	会社と勘定区分	内容
1	池田 = 受託加工賃    リコス = 外注加工料	箕島第二工場での甘味料の顆粒加工
2	キサイ = 受託加工賃    池田 = 外注加工料	キサイでの検品処理
7	池田 = 外注加工料    リコス = 受託加工賃	笠岡での野菜加工(箕島第三工場)

確認点

・ある会社の更新票に、別の会社にも登録するようになっている場合は、その別の会社の勘定区分は記入されていないので確認が必要。

#### 荷姿入目、在庫管理単位、単量、個装入目の関係

荷姿入目の中に入っている単位が、在庫管理単位になっていること。荷姿入目の内容と単量が矛盾しないこと。また、個装入目とも矛盾しないこと。個装入目は単量より小さい事。同じでもダメ。原則として、グループ全社で在庫管理単位を統一する。

#### 品名・カナ・記号の訂正

品名・カナ・記号をルールにあわせて訂正する。

勘定区分が外注加工料の場合、品名は原則として製品名 + '加工料'とする。

受託加工賃の場合は原則として'XXXX加工賃'とする。(箕島2工場が起票の場合は“加工賃”の記載はなくてもよい)

品名は、FD品、AD品、SD品、DD品を、'FDXXXX'の様に訂正する。

(FDの文字とその後の品名の間に空白を入れない。F・Dのように点を入れない。)

カナ・記号は、拗音(小さい文字)は通常文字に変換し、長音はハイフンに変換する。

カナに含まれている、カンマ、中点、シングルクォート、ダブルクォート、空白は無視する。(入力しない)

品名の漢字について、100×200の“×”は、“x”(かける)に統一する。カナは、“X”(エックス)に統一する。

例外として、リコス笠岡で受託加工賃を登録する場合、品名を'XXXX加工料'とする。(池田にあわせる)

## その他、各社共通項目

各社の共通項目の確認内容。必須項目の記述がない場合、起票者に確認する。

項目	備考
メーカー	生鮮品以外は必須、グループ会社製造品は実際の製造会社のコード(外注品なら外注先)、取引先コードがない場合は新規に取得してもらう
性状 (池田)	必須、品名を見て正しいかどうか確認、預り品の場合 9099 記入がない場合は 9009
形状 (池田)	必須、分らない場合は 90
比重	在庫管理単位が L のとき必須
規格書担当者	必須、仕入先が峯栄興業の物品は不要
外注品区分	外注品のとき必須、池田グループ製造品の場合は外注品とはみなさない

## その他、各社独自項目

登録する会社ごとに、これらの項目の確認を行う。必須項目の記述がない場合、起票者に確認する。

### ・池田

項目	備考
工程、製造部署	仕掛品、製品、受託加工賃のとき必須
製品部門	仕掛品、製品、受託加工賃のとき必須、品名を見て正しいかどうか確認
他社物品コード	SB の原料のとき必須
保管方法	常温以外のとき必須
1 食当りの g 数	在庫管理単位が食のとき記入
設備区分	工場区分が 1～5 のとき必須
工場区分	必須、関連会社で使用する場合は 9、酵素事業は 10
受託先	受託加工賃、預り品、原料区分 4 のとき必須
原料区分	原料(80品)のとき必須、預り(90品)は必須ではないが記入があれば入力
消費税率	新規登録のとき必須、預り(90品)は対象外

### ・キサイ

項目	備考
売上統計部門	必須、仕掛品・製品のとき 90 以外、原料・外注加工料のとき 90、無償支給原料のとき 99
性状	必須、池田の性状と異なる、記入がないときは 900
工程	池田の工程と異なる、記入がないときは 90
在庫場所	必須、記入がないときは 90
受託先	受託加工賃、無償支給原料のとき必須
在庫管理担当者	必須、記入がないときは確認する
ロット管理区分	必須、記入がないときは確認する

### ・リコス

項目	備考
勘定区分	リコスのみ勘定区分に半製品(25)を持つ。半製品(25)で登録する場合は、まず製品(30)で登録してから、変更画面で半製品(25)に変更する
工程	仕掛品、製品、受託加工賃のとき必須
製造部署	必須、原価部門が 5 笠岡のとき 7、性状が 2504 植物抽出物のとき 82
原価部門	必須、別の会社の更新票から登録する場合は確認する、性状が 2504 植物抽出物のとき 2
経費フラグ	仕入ではなく経費で購入するとき必須
統計 1	原価部門が 2 甘味料のとき必須 記入がないときは、松浜に確認する
品種区分	原価部門が 5 笠岡のとき必須 記入がないときは、笠岡に確認する

## ・上越

項目	備考
工程	仕掛品、製品、受託加工賃のとき必須、部門が FD なら 6001 以外は 9009 池田への登録時 6001 は入力できないので消す
製造部署	仕掛品、製品、受託加工賃のとき必須、1 固定
工場区分	必須、FD は 1、バックは 2、商品は 3（転売からの登録のときは 3）
分類	必須、原料のとき 1、 記入がないときは、確認する
荷姿入目	‘/’（スラッシュ）の場合空白にする。池田への登録は‘/’のまま。

## ・タヌマ

項目	備考
工程	仕掛品、製品、受託加工賃のとき必須
製造部署	仕掛品、製品、受託加工賃のとき必須、2 固定
製品部門	仕掛品、製品、受託加工賃のとき必須、6 固定、原料のとき 0

## ・ITK

項目	備考
統計 1	砂糖のとき 1000、油のとき 2000、以外は 0
品種区分	必須 記入がないときは、確認する

## ・IDI

項目	備考
売上統計部門	必須、輸入元 2 桁 + 品種 2 桁の構成、 コードがない場合はシステム基本マスタに登録する
ITK への登録	ここが 1 になっていたら ITK のマスタにも登録する この場合 ITK の品種区分は 70 輸入品



## 4 物品コードの採番

全くの新規物品登録の場合は、物品コードを採番する。採番は部門によって採番台帳により行う。採番台帳は情報サービスより出力してもらう。

### 部門を判断

まず、酵素事業かどうかを判断する。酵素事業の物品の場合、物品コードは K0(ケイ、ゼロ)で始まるコードを採番する。

そうでなければ、右の表で部門を特定し、その部門にて採番する。

性状が 2099 のときは甘味料の部門になる。

性状が 2504 はリコス松浜のみで使用する。

カラメル	デザート
甘味料	包装材料
植物抽出物	その他
着色料	試作品

上記になければ、採番台帳の“他”から、採番する

### 採番台帳にて採番する

で特定した部門の物品採番台帳にて採番する。

物品コードは、部門コード 2 桁 + 連番 3 桁 + 製造場所 1 桁 + タイプ区分 1 桁となる。

箕島 3 工場からの更新票で、半製品が来たときは、上 5 ケタをそろえて 10 と 11 で物品コードを採番する。

(他工場は別コードで採番する)

記号が“ミホウソウヒン”で半製品での登録依頼の時は、末尾を 9 にして採番する。

### 物品コードを更新票に記入

で採番したコードを物品更新票に記入する。

## 5 物品マスタ入力

物品マスタメンテナンス画面に物品更新票の内容を入力する。最初にホストに入力し、IIS に転送する。その後、必要であれば IIS のメンテナンスを行う。IIS 独自の物品、IIS 独自の項目、または IIS の枝番のメンテナンスの場合はホストには何もしない。

### 5 - 1 ホストのマスタに登録

#### 更新票 採番

まず、物品更新票にナンバリングを押印して更新票 を採番する。入力では更新票 に入力する。登録、変更、論理削除、物理削除のいずれの場合も採番、入力する。 ナンバリングは、“MMXXX”5 桁。月毎に、先頭 2 桁をかえる。

登録状況によって以下の入力パターンがある。

池田に新規登録

池田と関連会社に登録

既に登録のある物品を関連会社に登録

変更

論理削除

物理削除

#### 池田に新規登録

池田の物品マスタメンテナンス画面を表示する。

ACOS4 オンライン PF5 1 26 1 物品マスタメンテナンス

1 登録

更新票内容を入力する。

池田のマスタ入力で起票者を入力する。

#### 池田と関連会社に登録

まず関連会社に登録し、その登録により池田のマスタに自動登録させる。その後、池田に登録された内容の修正を行う。

手順は以下に記述する。

関連会社に登録

関連会社の物品マスタメンテナンス画面を表示する。右表の手順で行う。

キサイ	ACOS4 オンライン	PF3	1	5	1
リコス	ACOS4 オンライン	PF1	1	1	26 1
上越	ACOS4 オンライン	PF13	1	26	1
タヌマ	ACOS4 オンライン	PF14	1	26	1
ITK	ACOS4 オンライン	PF9	1	6	2
IDI	ACOS4 オンライン	PF2	1	4	2

1 登録

更新票内容を入力する。

池田のマスタに存在しない場合、自動登録される。

池田の修正

池田の物品マスタメンテナンス画面を表示する。 の手順で行う。

2 変更

内容を修正する。勘定区分、製品部門の項目は注意して入力する。

## 既に登録のある物品を関連会社に登録

池田のマスタに既に登録されている場合は、関連会社へのコピー処理を行い、関連会社の修正処理を行う。

関連会社へのコピー処理

関連会社の物品初期登録画面を表示する。右表の手順で行う。

物品コードを入力する事で、池田のマスタの内容が関連会社に登録される。

関連会社のマスタ修正

関連会社の物品マスタメンテナンス画面を表示する。 の表の手順で行う。

キサイ	ACOS4 オンライン	PF3	1	5	28
リコス	ACOS4 オンライン	PF1	1	1	26 10
上越	ACOS4 オンライン	PF13	1	26	8
タヌマ	ACOS4 オンライン	PF14	1	26	8
ITK	ACOS4 オンライン	PF9	1	6	16
IDI	ACOS4 オンライン	PF2	1	4	18

### 2 変更

内容を修正する。

## 変更

変更対象の会社のマスタを変更する。

池田または関連会社の物品マスタメンテナンス画面を表示する。 または の表の手順にて行う。但し、勘定区分及び単位の変更は、池田、キサイ、IDI は、物品マスタ(勘定区分・単位)の画面で行う。下表の手順にて行う。

### 2 変更

池田	ACOS4 オンライン	PF5	1	26	21
キサイ	ACOS4 オンライン	PF3	1	5	32
IDI	ACOS4 オンライン	PF2	1	4	26

内容を修正する。

池田のメンテナンス画面で起票者を入力する。

## 論理削除 (対象の会社)

論理削除は、依頼された対象の会社のみを削除する。

池田または関連会社の物品マスタメンテナンス画面を表示する。 の手順、または の表の手順で行う。

### 3 削除

物品コードを入力し削除する。

削除不可物品の削除依頼が来たときは、

関連会社への登録がある場合、上記の論理削除の手順通り **3 削除** を行う。

IIS の原料確定フラグに“9”を入力し、発注できなくさせる。

**IIS メニュー** **32 ITS 専用** **3201 マスタメンテナンス 1** **320112 枝番確定 F/削除 F 変更** を起動し、

**ジャンプ** をクリックし、物品コード、枝番を入力すると、登録内容が表示される。

**変更** をクリックし、原料確定 F に“9”と入力し、実行する。

## 物理削除 (対象の会社)

基本的に物品を新規登録した当日しか物理削除は行わない。

物理削除は、依頼された対象の会社のみを削除する。

池田または関連会社の物品マスタ削除画面を表示する。右表の手順にて行う。但し、ITK は物品マスタメンテナンス画面から **4 完全削除** を選択する。

池田	ACOS4 オンライン	PF5	1	26	22
キサイ	ACOS4 オンライン	PF3	1	5	33
リコス	ACOS4 オンライン	PF1	1	1	26 11
上越	ACOS4 オンライン	PF13	1	26	10
タヌマ	ACOS4 オンライン	PF14	1	26	9
IDI	ACOS4 オンライン	PF2	1	4	27

物品コードを入力し削除する。

## 5 - 2 ホストから IIS に転送

ホストで池田のマスタのメンテナンスを行った場合は、IIS への転送を行う。関連会社のためのメンテナンスを行った場合は転送は行わない。もし処理が異常終了した場合は、システム管理者へ連絡する

### ホストデータの抽出

ホストの「物品マスタ転送メニュー」 「1 物品マスタ転送用データ生成」 を起動し、

「8.2 背景処理 / 不在処理」にて処理の終了を確認する。

処理の終了を確認したら、[F4]押す。

### データの転送

ホストの「物品マスタ転送メニュー」 「2 物品マスタデータ転送 ホスト IIS」にてデータを転送する。

### IIS にてデータセット

「IIS メニュー」 「34 ホスト転送用」 「3421 ホスト IIS」 「342101 ホスト IIS「物品マスタ」」 を起動し、

「実行」をクリックすると更新処理が行われるので、正常終了を確認する。

「終了」をクリックし終了する。

転送結果が印刷されるので、回収し、チェックを行う。

### 転送用データ削除

ホストの「物品マスタ転送メニュー」 「3 物品マスタ転送用データ削除」 を起動し、

「8.2 背景処理 / 不在処理」にて処理の終了を確認する。

処理の終了を確認したら、[F4]押す。

## 5 - 3 ホストから RIS に転送

ホストでリコスのマスタのメンテナンスを行なった場合は、RISへの転送を行なう。その他の関連会社のメンテナンスを行なった場合は転送不要。

### ホストにてデータセット

・リコスの物品マスタをメンテナンスした時

「ACOS4 オンライン」 「PF1」 「1」 「5」 転送 を「11」、プリンタ に「01」を入力する。

「実行キー」を押下して、「F1」キーを押下すると実行状況が確認できるので、『実行 / 正常終了』を確認する。

「F4」キーを押下して、終了する。

転送結果が印刷されるので回収する。

転送後、再度転送したい場合10分程度、時間を空ける必要がある。

## 5 - 4 IIS のメンテナンス

IIS 独自の物品の登録、IIS 独自の項目の登録、IIS の枝番の追加、変更、削除の場合は IIS のメンテナンスを行う。  
また、IIS の枝番が複数ある物品の場合は、ホストからの転送では変更内容が反映されないので、個別にメンテナンスを行う必要がある。

### IIS 独自の項目の登録、IIS の枝番の変更

**IIS メニュー** **32 ITS 専用** **3201 マスタメンテナンス 1** **320111 物品マスタ** を起動し、

**ジャンプ** をクリックし、物品コード、枝番を入力すると、登録内容が表示される。

**変更** をクリックし、内容を変更する。変更内容により、他の枝番も変更する。

古い物品で、登録が抜けているところ(外注品区分等)があれば、ついでに入力を行う。

### IIS の枝番の追加

**IIS メニュー** **31 開発者専用** **3126 問合せ** **312622 枝番一覧表示 更新モード** を起動し、

物品コードを入力し、モードは製品なら**製品ラベル**にチェック、原料なら**原料**にチェック、ボタン表示の**更新ボタン表示**にチェックを入れて、**実行** ボタンをクリックする。

枝番選択画面が表示されるので、変更項目を入力し、**枝番追加** をクリックする。

の手順にて起票者名を変更する。

### IIS の枝番の削除（論理、物理）

**IIS メニュー** **32 ITS 専用** **3239 削除関連プログラム** **323911 削除 - マスタメンテ 1** **32391102 物品マスタ** を起動し、

**ジャンプ** をクリックし、物品コード、枝番を入力し、

**論理削除** または **物理削除** をクリックする。

### IIS 独自の物品登録（ロス回収品等）

**IIS メニュー** **03 製造管理** **0301 製造入力** **030108 仮コード登録** を起動し、

**仮コードで登録** をクリックし、

登録内容を入力する。

ロス回収品……1から手打ちで新規登録を行う。

IIS のみの登録のため、消費税率は入力できない。

## 5 - 5 IIS から RIS に転送

IIS で物品マスタのメンテナンスを行った場合は、RIS への転送を行う。

### IIS にてデータセット

**IIS メニュー** **32ITS 専用** **3238 日次処理** **323811RIS システムへ物品 M 転送** を起動し、

**FTP 転送前確認** をクリックするとデータ抽出できるか確認が行われるので、  
“IIS 物品マスタ抽出できます。”と表示されることを確認する。

**データ抽出 FTP 転送実行了** をクリックする。

**FTP 転送後確認** をクリックして、  
“FTP 転送が正常終了しました。”と表示されることを確認する。

転送後、再度転送したい場合 10 分程度、時間を空ける必要がある。

## 6 入力後の処理

物品を入力した後、いくつかの処理を行う。

### < 物品を登録した当日 >

#### 入力した会社に連絡

物品を新規登録した場合は、登録した会社の担当者に連絡する。更新票に物品コードを記入して、FAX を送信する。

物品を変更した場合は、変更した会社の担当者に連絡する。例外としてキサイには連絡しない。

#### 本日の物品登録分の一覧表

一日の入力が終了したら、ホストにて本日の物品登録分の一覧表を出力する。

ACOS4 オンライン PF5 4 1 物品更新票入力一覧表

1 を入力し一覧表を表示させる。

画面のハードコピーを出力する。

2 を入力し次頁を表示させ、ハードコピーを出力する。表示が終わるまで全頁出力する。  
一覧表は のチェック担当者に渡す。

### < 物品を入力した次の日 >

#### 前日入力分の関連会社分のチェック

ホストの日次処理にてチェックリストが出力されるので、内容のチェックを行う。

SB 物品コードが入っている場合は、情報サービスで SB 物品マスタメンテを行うい、ホストにもセットする。

#### 各社単価更新票の出力

物品の品名記号、荷姿入目を変更した場合に、各社の販売単価マスタ、仕入単価マスタの同じ項目を変更する必要がある。  
その為の更新票を出力する。

ITS 情報サービスメニュー 業務情報 4:マスタ 各社単価更新票 を起動する。

前日変更した物品の中で、品名・記号、荷姿・入目を変更した物品の、物品コード、起票者(物品の入力者)、依頼者(物品更新票の起票者)を入力し、変更項目にチェックを入れ、YES をクリックし、単価更新票を出力する。(プレビューをクリックする事で画面で確認できる) プレビューが表示されなければ、変更は不要。

既に対象の会社の販売単価マスタ、仕入単価マスタが変更済みかどうかをチェックする。

変更されていない場合は、所属長印をもらい、担当者に渡す。仕入単価更新票 を入力チームの棚に入れる。

販売単価更新票 ( 池田の立場を主とする)

### < 月 1 回の作業 >

#### メーカー/受託先未入力リストの連絡と入力

ホストの月次処理でメーカー未入力リストが出力される。関連会社分を回されるので各担当者に FAX する。その後、メーカーを記入して戻ってくるので、メーカーを入力する。 物品メンテナンス(変更)で入力する。

受託先未入力リストが出力された場合も、同様の手順で行う。

更新票 No.は未入力リストに手書きでナンバリックする。

ナンバリックは、“MMXX”4桁。月毎に、先頭 2 桁をかえる。

例)1 月に入力する場合、0101, 0102, 0103 ..... と、順に採番していく。

**物品マスタ不一致データの訂正**

毎月 25 日に、IIS 物品マスタとホスト物品マスタの不一致データを抽出したデータが、サイボウズのメッセージで送られてくる。  
更新票 No.のナンバリングはせずに不一致の箇所だけ訂正する。



## 7 物品終売連絡票の入力

物品終売連絡票を入力する。

### 物品終売連絡票の確認

仕入先が記入されていないといけない。この連絡票は対象物品の終売を知らせるもので、ある仕入先のみ終売の場合は入力してはいけない。

理由は必ず記入されていること。終売理由は必ず入力する。

< 終売登録前に確認すること >

・ホストの物品(全社)問合せ を行い、登録がある会社を確認する。

・IIS の単量チェック

・ACOS4 オンライン PF5 2 3 11 発注残問合せ

・製品ラベルの有無の確認

### 物品終売連絡票の入力

ホストの画面にて入力する。

ACOS4 オンライン PF5 1 26 20 物品終売連絡票入力

1 登録 で物品終売連絡票の内容を入力する。

入力する物品が、既に物品終売連絡票に登録されていて、なおかつ、マスタ削除日に日付が入っている場合は、

2 変更 で内容の入力を行う。こうする事で、マスタ削除日はクリアされ、登録で入力したのと同じになる。

入力する物品が、削除不可物品の場合は、担当者へ更新票を渡し、終売登録できるようにしてもらう。

### 原料リストの入力

の画面にて入力する。

伝票入力区分を 1 にする。

### 終売物品削除リスト

終売対象物品の在庫がなくなれば日次処理で物品マスタが自動削除され、終売物品削除リストが出力される。

このリストが出力されたら、各担当者に FAX する。

物品マスタが自動削除されると同時にその物品の全社の販売単価マスタ、仕入単価マスタも削除される。

削除理由はどのマスタも物品終売連絡票による削除となる。削除日(更新日)は物品マスタと同一になり、

削除日は物品終売情報のマスタ削除日に更新される。

## 8 削除済物品の復活

論理削除されている物品マスタを復活する更新票がきたら、内容を確認し復活処理を行う。

### 削除理由の確認

削除されている理由によっては復活できないので、削除された理由を確認する。終売連絡票によって削除された場合は、終売連絡票の削除理由が入力されている。

### 復活する会社の確認

どの会社のマスタを復活するかを確認する。

### 削除済物品の復活

確認の結果、復活することになれば、削除済み物品の復活を行う。

1. ITS 物品マスタの削除フラグを、0 にする。

**IIS メニュー** **32 ITS 専用** **3211 マスタ論理削除復活** **31400510 ITS 物品マスタ論理削除復活** を起動し、復活したい物品コードを入力して、**呼出** をクリックして、**更新** をクリックする。

2. **IIS メニュー** **32 ITS 専用** **3201 マスタメンテナンス 1** **320112 枝番確定 F / 削除 F 変更** を起動し、

**ジャンプ** をクリックし、復活する物品、枝番を入力し、内容を表示させる。

削除 F の 1 を消し、更新する。

3. ホストの対象会社の物品マスタメンテナンス画面の変更処理を行えば、ホストのマスタが復活される。

手順は、5-1 の 手順(物品メンテナンス(変更))にて行う。

4. 5-2 の手順にて IIS に転送する。

復活時、管理部署が 0 のエラーが表示される場合や、古い物品で登録が抜けているところ(外注品区分等)があれば、物品の変更で対象項目を更新後、再度復活処理を行う。

復活後、ITS 物品マスタ確認リストが出てきた場合は、上記 1. を行い、再度復活処理を行う。

### 物品終売連絡票データの削除 物品終売連絡の登録をとりやめる(キャンセル)する時

物品終売連絡票のデータがあれば、ホストの画面にて削除する。

**ACOS4 オンライン** **PF5** **1** **26** **20 物品終売連絡票入力**

**3 削除**

物品コードを入力し削除する。

ホスト日次処理にて、7 日経過すると物品終売連絡のデータが削除される。